

江南市廃棄物減量等推進協議会 令和5年度第1回会議 会議録(概要)

●日時 令和5年5月29日(月) 午後3時00分～午後5時00分

●場所 江南市役所 3階 第3委員会室

●出席委員(21名)

会長 石井 進	副会長 森田 英守
委員 斉木 英男	委員 高橋 正博
委員 佐橋 美佐子	委員 多湖 直希
委員 古田 みちよ	委員 中根 禎裕
委員 藤川 高弘	委員 川崎 適
委員 伊神 武司	委員 森 ケイ子
委員 滝 友彦	委員 大脇 文彦
委員 小森 利之	委員 中西 健仁
委員 古田 一二三	委員 梅本 孝哉
委員 安藤 晴通	委員 尾関 奈緒美
委員 黒岩 弘子	

●欠席委員(4名)

委員 佐々木 聡	委員 矢野 良和
委員 秦 公輝	委員 小笠原 茂彦

●事務局

環境課 課長 相京 政樹
環境課 主幹 前田 茂貴
環境課 主任 米嵩 浩之
環境課 主任 宮崎 寿哉

●会議経過

開 会

●事務局

本日は、「令和5年度第1回江南市廃棄物減量等推進協議会」を開催しましたところ、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様お揃いでございますので、只今から会議を始めさせていただきます。

会に先立ちまして、始めに、澤田市長よりごあいさつを申し上げます。

●澤田市長

<市長あいさつ>

●事務局

市長は他の公務がございますので、ここで退席させていただきます、よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議につきましては、会長が選任されるまでの間、私が、お手元のレジメにそって、進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。以後、着座にて失礼します。

それでは、本日は、新委員の方々による第1回目の「江南市廃棄物減量等推進協議会」ということで、委嘱状を交付させていただきます。委嘱状はお手元に配付させていただいておりますが、皆様方には、これから2年間、廃棄物減量等推進協議会委員としてお世話になりますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは初対面の方もいらっしゃると思いますので、一言ずつ自己紹介をお願いしたいと存じます。なお、時間の都合もがございますので、大変恐縮ではございますが、簡潔にお願いいたします。

<委員自己紹介>

ありがとうございました。

次に、事務局も自己紹介をさせていただきます。

<事務局自己紹介>

議題①役員を選出に移らせていただきます。

役員につきましては、本協議会設置要綱第6条の規定により、会長・副会長は、委員の皆様の互選により選出することになっておりますので、よろしくお願いいたします。

まず、会長の選出について、いかが取り図らせていただきましょうか。

●委員

推薦でどうか。

●事務局

只今、「推薦」とのご発言がありました、いかがでしょうか。

●委員一同

異議なし。

●事務局

異議なしとのことですので、どなたかの、ご推薦をお願いしたいと存じます。

●委員

石井委員を推薦します。

●事務局

石井委員を推薦しますとのご発言がございましたが、いかがでございましょうか。

●委員一同

異議なし。

●事務局

異議なしとのことですので、会長は、石井進 様をお願いをいたします。

次に、副会長の選出について、いかが取り図らせていただきましょうか。

●委員

推薦でしょうか。

●事務局

只今、「推薦」とのご発言がありましたが、いかがでしょうか。

●委員一同

異議なし。

●事務局

異議なしとのことですので、どなたかの、ご推薦をお願いしたいと存じます。

●委員

森田委員を推薦します。

●事務局

森田委員を推薦しますとのご発言がございましたが、いかがでございましょうか。

●委員一同

異議なし。

●事務局

異議なしとのことですので、副会長は、森田英守 様をお願いいたします。

それでは、会長・副会長はお席のご移動をお願いいたします。石井会長には就任のご挨拶をお願いいたします。

<会長あいさつ>

●事務局

会長が就任されましたので、以後の進行を会長の石井様をお願いしたいと存じます。よろしく  
お願いいたします。

●会長

江南市廃棄物減量等推進協議会の会議は、一般の方にも公開しております。本日は傍聴を希望  
する方がお見えになります。

「江南市審議会等の設置及び運営に関する指針」第7条第2項の規定により、傍聴に関して必  
要な事項は、会長が会議に諮って定めることとなっておりますので、委員の皆様にお諮りします。

会議の傍聴に関して異議のある方はいらっしゃいますか。

<異議なしの声あり>

異議なしのことですので、傍聴人の入室を許可します。

事務局は対応をお願いします。

●会長

それでは引き続き、議題を続行します。

議題①の続きで、特別委員会についてです。特別委員会規約第2条に10名以内で組織し、委  
員長及び委員は協議会の互選によって選任することになっております。

まず、委員長について、どのように選出させていただくかをお諮りします、いかがでしょうか。

●委員

推薦でしょうか。

●会長

只今、「推薦」とのご発言がありました、いかがでしょうか。

●委員一同

異議なし。

●会長

異議なしとのことですので、どなたかの、ご推薦をお願いしたいと存じます。

●委員

石井委員を推薦します。

●会長

石井を推薦しますのご発言がございましたが、いかがでございましょうか。

●委員一同

異議なし。

●会長

異議なしとのことですので、委員長は私石井が務めさせていただきます。

次に、特別委員会の委員についてでございますが、従来から、委員は委員長より指名をさせていただきます。そのような方法で委員をお願いしてよろしいでしょうか。

●委員一同

異議なし。

●会長

異議なしとのことですので、特別委員会の委員について、ご指名をさせていただきます。中根禎裕委員、藤川高弘委員、川崎適委員、伊神武司委員、森ケイ子委員、森田英守委員、安藤晴通委員、尾関奈緒美委員、黒岩弘子委員、それから私、石井で10名といたします。

続いて、議題②の令和5年度協議会事業計画（案）について事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

令和5年度事業計画（案）について、事務局より説明がありましたが、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

意見もないようですので、お諮りいたします。

事務局案のとおりでよろしいでしょうか。

<賛否を取る>

ご承認いただきましたので、事務局案のとおり、今年度はこの計画に沿って協議を行っていきます。ご協力よろしくをお願いします。

続いて、議題③の報告事項についてです。事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

事務局より説明がありましたが、ご意見等ございますか。

●委員

新しいごみ処理施設の説明がありましたが、江南市の資源ごみ回収においては、本当に住民が細かく分別をしないと、処理先が大変になります。他の自治体では、ある程度の分別ができていれば、それをリサイクルセンターに持って行って、そこでベルトコンベアに乗せて、きちんと分別できる場所を作っています。今回のこの施設の中には、そういうものがないですが、私は、そこにリサイクルセンターを作ればもっと綺麗な徹底した分別ができると思います。現在は埋立ごみの分別を徹底してやっけて、埋立ごみが減って処理場が長持ちしています。そういう施設があれば、住民の分別にかかる負担がもっと減っていくのではないかと考えています。ここでどうこうということにはならないかと思いますが、そういう意見があったとお伝えいただければありがたいです。

●事務局

今は2市2町でも分別の仕方が違って、例えば犬山市だともう少し大雑把なので、特に不燃ごみについて、今まで通りとするのか、他の1市2町に合わせて細分化するのかという議

論がこれから出てくると思います。合わせるかどうかも含めて、悩ましいところではあります  
が、議論の焦点の1つになってくるかと思っています。

#### ●会長

中型ごみの類は、鉄やアルミ、プラスチックを上手く分けるとなると、破砕とか重量による  
分別となります。

次の議題に移ります。

続いて、議題④資源ごみの収集体制についてです。事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

#### ●会長

昨年度からの継続議題ですが、可燃ごみのように袋収集にすることを検討してまいりました。  
現実には、資源ごみの分別作業をある程度地域や町内会長さんをお願いしているということでご  
ざいますので、区長・町総代あてにアンケートを行いました。全面賛成という結果ではあり  
ませんでした。最終的に事務局で検討しまして、引き続きの検討課題という形になりました。  
ただ、立ち当番の負担が大きいとの苦情への対応は必要なので、各地区及び町内会の中で資源  
ごみ当番の負担を少なくするために、人数を必要最低限にし、高齢者、共働き世帯を免除する  
ことをお願いしていく形となりました。

こうした中、今回、分別が簡易になるような新しい提案が事務局より出ておりますので、皆  
様からの意見を順番に聞いていきたいと思っています。

#### ●委員①

先ほど、高齢者と共働き世帯の方への配慮という言葉がありました。私は小牧市に住んでい  
まして、実際、立ち当番もあります。冬の寒いときに立っているのが辛い高齢の方に配慮して  
いきましょうということで、町内の立ち当番を変更した覚えがあります。共働き世帯の方や一  
人世帯の方は、どうしても所定の時間には集まれないということで、勤務によって変更できる  
のであればしようということもありました。この会議の全体としての方向性は間違ってい  
ないと考えておりますので、少しでもお互いに配慮できる体制をとっていければと感じており

ます。

#### ●委員②

トレイや発泡スチロールなど、網袋に入れているものをカゴに入れるようにするという事なので、カゴがすごく沢山必要になる。発泡スチロールはかさばるし、ばらして小さくして入れていたのを箱の中に入れたらすぐ一杯になってしまう。そうするとカゴがいくらあっても足りない。一体カゴがどれだけ必要になるのかと心配になります。もう一つは、高齢者を免除してくださるのはありがたいのですが、高齢者と共働き世帯を除くと、誰も現場をやる方がいなくなってしまう。やれる人が決まってしまうので、すぐに順番が回ってくる。自分のところは1年に2回当番がありますが、回数が増えると困ります。

シルバー人材センターに依頼をする話を聞きますが、みんな高齢者であり、そこに期待するのは難しい話だと思います。高齢者と共働き世帯のことは確かに考えないといけない問題ですが、地域では調整しながらやっていて、1年に1、2回しかないので、できる限り自分たちのごみは協力してやっていくのが筋じゃないかと思います。

#### ●委員③

私の地域は、地区としても町内としても人数が少ないので、共働きの方でもごみの日には1、2時間休みを取って当番に出てもらっていて、高齢者でも立っているだけでいいからと言ってやってくださる方もいます。年に多いときは4回当番が回ってきますが、立ち当番でコミュニケーションが取れるという意味もあります。皆さんの元気な顔を見ることができるといふところがあるので、なんとかうまく両立ができないかと思います。

#### ●委員④

私は今年班長になりました。私の区では、ごみ当番は年に1回だけ回ってきます。先日、早番遅番を決める話し合いをしましたが、例年通り何も問題なく決まりました。私は年に1回くらのことならいいのではないかと感じております。



●委員⑤

月2回の収集という同じような形だとあまり進歩がないと思います。昨年、区長さんたちにアンケートを取られたということで、区の役員さんに色々お話を聞かれて回答したということですが、区長の独断で出されたところも現実にはあるので、あまり現実が反映されていないと私は思っています。産後、産休育休を少し取って職場復帰するという男女が共に働く時代で、今は7時半から子供を保育園に預けてそのまま車で仕事に出かけるというお母さんが増えてきています。近くに職場があつて、許される環境であれば、少し遅れて行くとか休暇を取ることができんですけども、子育てしている人は子供が病気だとどうしても休まなければいけない環境の中で、ごみ当番のために夫婦が協力するという時代ではないという意見を若い方からよく聞きます。

また、高齢の方で、辛いから誰か代わってくれないかという意見があつたということも聞きます。ある地区では80歳以上が免除だとも聞いていまして、元気な高齢者は別として、私の区でも今後、高齢者で足腰が悪いとか、若い方と一緒に生活していない方とか、諸事情がある方は無理しなくていいですよというように対応してあげたいと思いますし、1歳未満のお子様を抱えながら寒いときや雨の時に立つのは厳しいですので、免除の方向で考えていきたいと思っています。

また、大口町は日曜日が資源ごみを出す日になっていて、江南市の場合は委託業者の都合や経費の面でだと思いますが、日曜日は1回もなく、日曜日だと若い方も出られるので、1年のうちに土日が入ってくることがあると助かるという意見も出ました。近隣の市町でもやり方が違って、犬山市は立ち当番がなくてもきちんと分別できています。3、40年も分別を続けてきているのに、どうして江南市はモラルがないのかと他の市町の人から言われます。大勢立っていないときちんと分別ができないのかと、そこまで言われてしまうので、きちんとモラルを持ってやってもらいたいと思います。引っ越してきた人は、分別が分からないこともあると思いますけど、ともに働く時代ですので、あまり負担をかけないように行政も考えていただきたいと思っています。

2つ目のリサイクルステーションが布袋地区にできる話ですが、将来的には中学校区に1つくらい設置していただけると、身近で出せるため、働いているお父さんお母さんも助かります。特に土日でも持って行けるように考えていただきたいので、よろしくお願いします。

#### ●委員⑥

立ち当番に関してですが、町内の中には一部の時間帯を業者に依頼しているところがあります。朝の6時半から7時の当番と8時以降の片付けを業者に依頼し、その間の1時間だけを町内の方が立つという形で年間契約にてお願いしています。町内会費から捻出しながらやっていますが、朝早く出なくてよく、仕事に出ないといけない時間帯も業者の方にやっていただけるため、町内の方にとっては非常に助かる内容になっております。

立ち当番は全てボランティアでやるというのが江南市の各地区のやり方のベースになっていますが、報酬が発生することによって、各町内でこれだけお金がもらえるなら1年間立ち当番をするという人も出てくると思います。その町内では、月に10～15万円ほど業者さんに払っている状況ですが、他の町内の方でも報酬がいただけるなら全て立ち当番をやるという方も場合によっては出てくるのではと思います。

もともと、ごみ分別の協力金という形で各町内にお支払いいただいていると思いますので、その上乘せという部分で、江南市の予算の中で250か所で10万から15万円も現実的な数字として考えられるのではないかと思います。ボランティアで行うというのが全てのベースになっていると思いますが、一步先に進んだ方法も検討する時代に来ていると思います。その費用と昨年度ご提示いただいた資源ごみの戸別回収の費用とどちらが安いのか、合理的なのか、検討していくと今後の課題が見えてくると思います。ごみを捨てに来る方は高齢者の方が多く、若い方はリサイクルステーション、その他スーパーなどに捨てる方が増えてきている時代だと感じます。いかに利便性を高めていけるかをご協議いただければと思います。

#### ●委員⑦

各地区で色々な問題があると思いますが、私が思うのは、品目が多すぎて、青いカゴと黄色いカゴでどちらに捨てたらよいか、その区分が分かりづらいのも問題ではないかと思っております。

で、そういうものをまとめていただけるとありがたいです。立ち当番については、私の身近な所では今のところは問題ないと思っていますが、他の地区には問題を抱えているところもあると思います。分別をまとめていただくことで、立ち当番の問題も少しずつ解決するのではないかと考えます。

#### ●委員⑧

私の区の実態として、今、色々な対策を講じているので、説明したいと思います。私は先日のボランティア分別指導員養成講座に参加しましたが、2日目の市からの話で、資源ごみの立ち当番について、ごみを出しに来た人が各々で容器を出して分別していくことで、立ち当番をなしにすることはできないかと方向性を示されました。昨年度から、まずは、区の方で何かできることがあれば取り組んでほしいと言われていたこともあり、我々も何かやろうということで考えています。

私の区は、区長・副区長が毎回朝の6時半の容器設置から8時半までを、実際の作業員として働き、一方で、立ち当番の方については、人数は多くいても、半分以上は立っているだけで、出席率も区の平均でいうと50%前後という状況でした。それを改善しようということで、区の280世帯でアンケートを取って、約1割の25世帯の方から意見が出てきました。一番多かった意見は、実は、立ち当番制度をなくすという意見で、とはいえ誰かが必要だということで、できれば区内で有償のボランティアを募集して、立ち当番の代わりにする方を置いてほしいという意見が多く、区費から出しても構わないという意見もありました。

また、立ち当番の人数が多いという意見もあった中で、昨年7月から資源ごみの収集時間を短縮しました。それまで6時半から8時半だったのを、6時半から8時にし、ボランティアの時給は最低賃金の1,000円弱くらいとしました。ボランティアは区内で3名見つかりましたので、ローテーションを組み、立ち当番の人数も半分にしました。立ち当番は1回あたり45分、3年8か月に1回となり、今までの1年10か月に1回当番が回ってくるスケジュールだったので、かなり負荷が減ったと思います。また、当番制のカレンダーを早めに示せば、いつ当番が回ってくるか分かるので、事前に家庭とか職場で調整がしやすいだろうと考えています。

市が何らかの形で無人化に向けて行動をされるだろうから、それまでの間、こういう体制でやっていこうということで、市の方向性を非常に期待しています。今日の案は少し期待外れですけど、これから考えていただきたいと思います。

●委員⑨

私の地区は、資源ごみの集積場所が3か所ありまして、ごみの収集日が決まった時点で何班は何月何日というような感じで班別に予定を組んでいます。若い方もそれを見て半休を取ったり、ローテーションをしながらやっていますので、あまり問題はないと思っています。参加者の中でもお年寄りが多い班、若い方が多い班、色々あります。区長と副区長は毎回、自転車で巡回をしています。当番も班ごとで行いますので、コミュニケーションを図って、問題点などを聞きながら、分別も注意しつつ見守っています。

最初の案で、可燃ごみ置場にプラスチック製容器包装類を週1回出すとあり、可燃ごみ置場がかなり狭い所もあるのに大変だと思っていたら、次の案は分別の種類を少なくするということで内容がかなり違っていたので驚きました。スプレー缶についても、穴開けを3か所に配ったばかりですが、開けなくても良いということならそれもアリかと思います。いずれにしても、班ごとで当番をやっており、班の中で高齢により動けない方は班で熟知していますので、そういう方は休んでくださいと言えますし、共働きの方は、朝を免除して昼からの掃除をしてもらうとか、各班でコミュニケーションをとってやっていただいています。無人化に向けてやっていくのであれば、自分で出したごみは自分で処理をするということを徹底しないといけないです。ある程度は分別できないとやっていけないので、今、出されている案も1つの方向性としては良いと思います。

●委員⑩

1つ質問がありまして、プラスチック製容器包装類とトレイ、発泡スチロールを一緒にするということは、今まではそれぞれの業者に頼んでいたものが、一緒になることでまた別の業者に頼むことになるのでしょうか。

昨年度までの議論の中で、袋収集にして路線収集体制の中に、少しでも組み込んでいこうと

いう案が出ましたが、狭い所などに1週間に4回もごみを置かれるのは困るという意見が出て、難しいということになってしまいました。その時に、皆さんの意見として、モデルケースで何か所かやってみてはどうかという意見が出ましたが、そういうテストもやらないで、また元に戻ってしまうというのは、非常に残念だと思いました。今の収集体制は、立ち当番のことも大変ですが、種類も非常に多くて、私の地区の場合、出す場所は比較的近いですが、家を2、3回往復しないと全部出しきることができない人もいます。ペットボトルとプラスチック製容器包装類だけでも量が多く、紙類は重たく、廃プラもあり、地域の皆さんにとっては遠い所へ持って行くのは大変だと思います。そういうこともあって、袋収集で路線収集体制の中に組み込んでいただければ本当に助かるので、やっぱり最終的にはそこを追及していくということで、資源ごみの収集体制の見直しの検討をしていかないといけないのではないかと考えます。市民の皆さんから出ている色々な要望を解消するためにどうすればいいかということを原点に立ち戻って検討して行ってほしいと思います。一度どこかで半年くらいテストをしてみることをぜひ検討してください。

#### ●委員⑩

私の区は全部で10か所の資源ごみ集積場所があり、町内会は3つに分かれています。人数が少ないところは、7時から8時の1時間だけでなんとかなるところもあります。自分のところは6時半から8時半まで、年間で1回、時に2回立ち当番をやっています。実際のところ、自分も親と同居していて親が元気なうちは親がやってくれていて、自分では何もやっていませんでした。親が亡くなり自分がやることになって、休みを取らざるをえない状況が出てきました。時間を取れない人がいるので、そういう人は辛いと思います。一緒に当番をしているときは早く帰っていいよと声をかけたりしますが、そういう安心して早く帰れる状況を作ってもらえると良いし、そのためには人手も必要ですので、今後は無人化の方向で、有人のままなら業者委託で進めてもらえると良いと思いました。

自分は元教員で、学校で資源回収を行い、集めたものを売って、それを学校の補助財源として使ったりすることもありました。アルミ缶や鉄、紙類は売ってお金になるものだと思います

ので、市でも収入になっていると思います。そういうものを人件費に回せるようになると、市の歳出の負担も多少減ると思いますので、検討してもらえると良いと思いました。

●委員⑫

私の地区もごみ出しについてはさまざまな話を聞きますし、検討して変えていかないといけないと思います。当番についても6時半から8時半までの間で30分ずつ、当番をお願いしております。年度初めに予定表を出して事前に日程をお知らせし、都合が悪い時はその組の中でお互いに声を掛け合って、交代をしていただく形となっています。高齢で不自由な方、動けない方については各組ごとで考えて対応してもらっています。事情に応じてそれぞれの地域でやっていただいているのが現状です。今後の立ち当番についても、こういった場などで話し合ってより良い方法を考えていかなければならないと思います。4月から区長になってまだ2か月ですが、こういう問題も聞こえてくると思いますので、区民の意見を聞いて考えていきたいです。

●委員⑬

本日は、令和4年度の案で出ていた可燃ごみと一緒にプラスチック製容器包装類を出すことの説明会だと思っていましたが、その案は無くして、多少、分別区分をスリムにするだけの小手先の見直しになっているため、本当に変えていこうという気がないのではないのかと思いました。立ち合いがいるのかいないのか検討をしていて、せっかくごみの焼却場が5年後にできるのであれば、それに向けて動いてください。他の方に聞いたら、こんなことをしているのは江南市だけだと言われました。他自治体の収集の内容を教えてくださいたいと思います。それで、なぜ江南市ができないのかを含めて、変える方向で動いていただきたいと思います。

●委員⑭

大口町は1年に1回、日曜日の8:00~11:00で当番があり、なんとか地域で協力しながらやっています。仕事は、ごみの回収業務をしておりますが、地区の役員さんやごみを出す方も本当に大変だと思います。上手く調整していただけると良いと思います。

●委員⑮

市民の皆さんには、ごみの分別、立ち当番で大変ご苦勞をおかけしているということがよく分かりました。やはり、立ち当番等の負担を軽減する方向で取り組んでいかなければならないと思います。そういった中での改正案ですが、分別区分のスリム化については、リサイクル率が下がらない範囲でということなので、これは早急に進めていただきたいと思います。

●委員⑯

私の区は、立ち当番の時間も地区によってかなり違ってしまっていて、立ち当番をしていないところもあります。わざわざ立ち当番をしなくても大丈夫だと、自信をもって言う町内もいくつかあります。昨年、区長としてここに参加させてもらったときに、各地区の現状がかなり違っていていると感じました。それをまとめていかなければならないということなので、かなり大変だと思います。私の区の立ち当番はだいたい年に1回、もしくは世帯数の多い町内は3年に1回なので負担に思っていないです。あまり問題は発生していないので、各地区とのギャップに戸惑っています。

高齢者、共働き世帯を確実に免除するというのは不可能だと思いますので、各町内の判断に委ねるのが良いと思いますし、私の区は実際に任せています。容器は並べてもらえればよく、立ち合いは他の人がごみを持ってくるので、その誰かが分別などをやります。立ち当番に出るのが難しいと前もって言ってもらえればそれでOKという町内もあります。共働きの人にとって負担はなく、高齢者に関してはそれぞれの町内で配慮してもらえれば問題は起こらないと思うので、概ね私は賛成です。分別区分のスリム化について、つなぎの案として今は聞いていましたが、最終的には月に1回を一部資源ごみの収集に充てて、それ以外は路線回収の方にシフトする方向に持って行きたいという考えだと理解しております。

●委員⑰

今回始めて委員になりまして、いろいろご意見をお聞きしました。私の地区は、子育て世代、共働き世代、高齢世帯が多いので、時間短縮とか、プラスチック製容器包装類とペットボトルが袋回収になるというのは良い案だと思っていましたが、分別区分のスリム化ということで元

に戻ってしまい残念です。私たちのところは、年3回立ち当番が回ってきます。地区ごとに平等にはならないので、少しずついろんな所で折り合ってやっていただきたいと思います。

●委員⑱

私の地区は、資源ごみの集積場所が2か所ありますが、毎月の当番は、前年の役員から順番に決められて、10年に1度しか立ち当番は回ってきません。当番の日になったら、班長が腕章を届けに来て、終わったら班長に届けるという習慣になっていて、今まではその通りにやってきました。私の地区は750世帯ありますが、今まで立ち当番で悩んだということは区長さんからも聞いたことがないです。働きに行く人は、お子さんやお孫さんが近所に住んでいて、交代して持ってきてあげているのかと思うくらいスムーズに行っています。今後もこれまでみたいにスムーズにいくと良いと思っています。

●会長

次の議題に移ります。

その他についてです。事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

資源回収拠点（リサイクルステーション）の設置についてを説明。

●会長

その他、ご意見があればお願いします。

●事務局

本日は大変貴重なご意見をいただき、手厳しいご意見もいただいたところですが、今回の案だけお示しして見ていただくと、確かに昨年度の案より後退している、これでお茶を濁して終わりかと思われたかもしれませんが、決してそんなことは思っていないで、まずは、比較的着手がしやすい範囲で見直し案をお示しさせていただいたということです。分別区分のスリム化については、ご承諾いただければこの内容で準備を進めていきたいと思っています。

先ほど他市がルート回収できて、なぜ江南市ができないのかというご質問がありましたが、



平成6、7年辺りで容器包装リサイクル法という法律ができました。その時に全国の自治体が、どうやって分別するのかということで、一斉に検討し、江南市は各地区に設置する資源ごみ集積場所で収集するというを決めました。例えば、小牧市や一宮市は、可燃ごみ置場を使って収集するというを決めたということが起点になっていて、それぞれ、その決定事項を今まで大切に守ってきたというのがこれまでの状況でございます。

それから、今日は説明会だと思っていたというご意見もありましたが、あくまでこの協議会は、皆様からのご提案やご意見をいただいて、より良い方向性を形作っていく場の位置付けになっておりますので、そこをご理解いただければと思います。市からの押し付けや決めたことを示して進めていくと、それはどこかで破綻なり不都合が生じるだろうということで、皆さんの不都合が最小限になるように進めていきたいと思っています。

また、当初の案について実証実験という提案がありましたが、こちらについては、すぐに着手できるかは分かりませんが、令和10年に新しい焼却場が供用開始になる関係で可燃ごみの収集ルートを見直す可能性がありますので、そちらとの見直しを合わせて、良い形で見直せないかということをお案として持っております。これから、方向転換をどのようにしていくのかというところを皆様と共有していきたいと思っています。その中で立ち当番をなしにできないかという部分も意識して探していきたいと思っています。地区によっては、無人は不安だと思われるところもあると思いますので、そうしたところの対応としては、市の方からパトロールを出すという知立市方式もあります。実現できるかどうか分かりませんが、こういった提案も含め、次回に向けてさらに調整を進めていきたいと思っていますので、よろしく申し上げます。

#### ●委員

この協議会に参加して感じていることですが、他の会議では事前に資料をいただいています。せめて3日前までに届けば、皆さん勉強して参加することができると思いますので、次回8月の会議からは、ご対応をお願いします。

●会長

これもちまして、協議会を終了させていただきます。

本日は、長時間にわたりご審議を賜り、ありがとうございました。